

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋の情報処理技術者試験について,先月発表された基本情報/初級シスアド試験を除く,7 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに,情報セキュリティアドミニストレータ試験の合格発表コメントをお知らせします。

来年春からは,「情報セキュリティスペシャリスト試験」として出題範囲など変わりますが,今秋試験の内容を振り返り,来春の新試験対策につなげてください。

情報セキュリティアドミニストレータ試験(SU)

[平成 20 年秋期の情報セキュリティアドミニストレータ試験 統計情報]

応募者	23,840 人
受験者	15,635 人
合格者	2,618 人
合格率	16.7%

今回の平成 20 年秋試験では,昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べ応募者が 7,000 人弱減りました。合格率は 16.7%で,前回の 19 年秋試験の合格率 13.6%に比べるとやや上がりました。今回の試験の傾向や特徴をまとめると,次のようになります。

[午前問題]

- ・過去問題の比率は約 7 割でした。過去問題ではテクニカルエンジニア(情報セキュリティ),情報セキュリティアドミニストレータからの出題が多かったといえます。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

問 14 リンクアグリゲーション

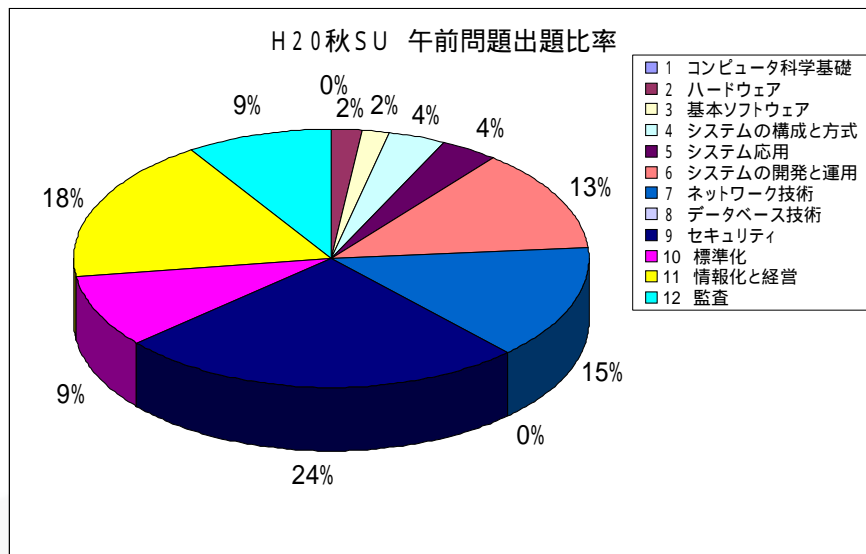
問 34 内部統制に係る有する者の役割と責任

問 37 共通フレーム 2007 の目的

問 39 セーフガード

問 49 電子申請の特徴

平成 20 年秋期の情報セキュリティアドミニストレータ試験 午前問題出題比率



(午後問題)

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問 2 , 3 が特定の技術をテーマにした問題といえます。

- 問 1 Web 受注システムのセキュリティ
- 問 2 検疫システム
- 問 3 生体認証による入退室管理
- 問 4 Web サイトでの個人情報保護

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問 2 が技術寄りの問題でした。

- 問 1 社内システムの再構築
- 問 2 情報セキュリティインシデントへの対応

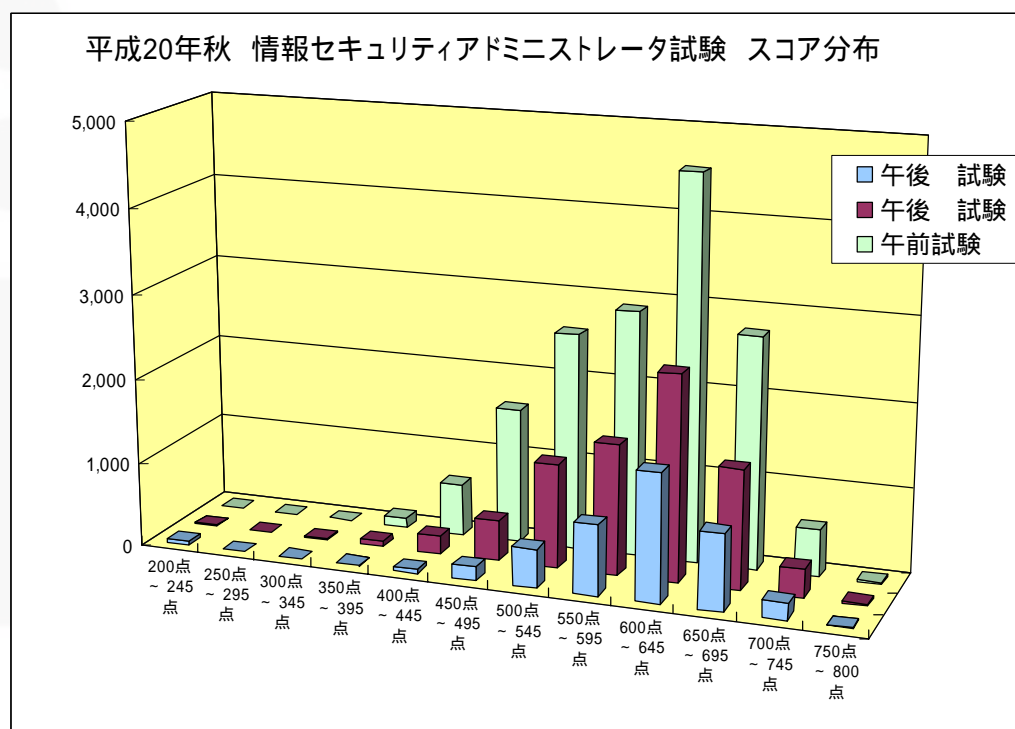
発表された情報セキュリティアドミニストレータ試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年秋 情報セキュリティアドミニストラータ試験 スコア分布]

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	4	9	46	
250点 ~ 295点	2	4	0	
300点 ~ 345点	9	16	2	
350点 ~ 395点	117	67	11	
400点 ~ 445点	612	212	48	
450点 ~ 495点	1,593	481	166	
500点 ~ 545点	2,559	1,231	458	
550点 ~ 595点	2,892	1,534	833	
600点 ~ 645点	4,530	2,420	1,510	2,618
650点 ~ 695点	2,734	1,405	901	
700点 ~ 745点	559	342	198	
750点 ~ 800点	24	23	9	
計	15,635	7,744	4,182	2,618
対前試験比率		49.5%	54.0%	62.6%

スコアなし

合格者数	2,618	採点者数の割合	合格者数との差
午前 600 以上合計	7,847	50.2%	5,229
午後 600 以上合計	4,190	54.1%	1,572



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の方が 7,847 人(受験者の 50.2%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 4,190 人(同 54.1%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えた合格者が 2,618 人(同 62.6%)います。午後試験で合格点に達した人は従来よりもやや多くなっています。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、今後の対策として、「午前試験で出題される専門知識の理解度をまず上げる」ことが大切です。

(今回合格された方へ)

合格された方で来春のプロジェクトマネージャ、データベーススペシャリスト、システム監査技術者などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や「システム戦略・経営戦略」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後が論文試験になるものを受験される予定の方は、合格するために第三者の論文添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックでは新試験制度に合わせて、通信教育で使用する基本的なテキスト、予想問題集、本試験問題集、午後試験対策本などを新たに改訂しました。これらの書籍は書店でもご購入いただけます。また、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は好評を頂いており、特に一人で試験勉強がなかなか進まない方に、お勧めしたい講座です。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

次回受験する試験は情報セキュリティスペシャリスト試験になる方が多いと思いますが、今回の午前試験のスコアが500点~595点の人は、合格スコアの600までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

なお、次回から新試験制度になり、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や「システム戦略・経営戦略」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後試験のスコアが600点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「応用情報・高度に出る午前共通知識問題」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)